

表 7.2-1 人・情報の整備に係わる技術マップ

課題調査票の概要	技術項目	概要	役割分担 (実施/資金)
研究基盤の確保	共同プロジェクト実施環境の整備	産学で水化学基盤研究が実施しやすい仕組みを構築する。産官学が共同して新しい水化学技術の確立・適用性に関する研究プロジェクトを構築していく環境を整備する。	産、学、官/産、官
技術情報基盤の整備 /技術伝承	水化学に関する技術情報の整備	国内外の水化学管理に関するプラントの運転状況および水化学基盤情報を整備する。廃炉等事故への対処や過酷事故の発生および拡大防止に対する挙動解明を進める。加えて、設備設計等についても水化学の関与を強化していく。	産、官/産、官
	人材育成方針の検討	プラントの化学管理に関する教育プログラムを作成し、化学管理者の育成、技術伝承に資する。また、資格認定制度も取り入れ、社会に対する化学管理の透明性を示す。	産、学/産
学協会規格等の整備	水化学管坦に関する民間規格・基準類の整備	プラントの運転管理等に対する公開性・公平性・説明責任の要求に答えるため、水化学管理内容や分析技術等に係わる技術を学協会場で民間規格化・基準化する。過酷事故の発生および拡大防止に係る技術情報に基づいて、アクシデント・マネジメントの整備等に係る基準類に対して、化学の観点からの寄与を強化していく。	産、学/産
	水化学管理に関わる技術書の整備	プラント運転経験、高経年化対応技術、新しい水化学技術など、これまでに蓄積された知識・経験を次世代に適切に継承し、世界的にも高い水準にあるわが国の水化学管理技術を維持するため技術継承資料の作成を目指す。	産、学/産
国際協力の推進	国際的な情報交換体制の整備	海外情報の活用や国内情報の発信によるプラントの安全・安定運転への貢献等、水化学に関する情報を国際的に相互活用するために、国際協力体制および情報交換体制の整備強化を行う。原子力発電の導入・拡大が見込まれる諸国の人材育成にも協力する。廃炉や過酷事故対応技術については、海外の先進事例や知見について、積極的に情報収集ならびに共同研究を推進する。	産、学、官/産、官